

もうすぐ進級・進学おめでとういそいます！

万物の生き生きとした息づきに心はずむ春。子供達も新しい学年に向けて新たな希望に胸を膨らませていると思います。



成長して立派に今の学年を終了することができた事を、お父さんやお母さん、先生方をはじめ、お世話になっている大勢の方々に感謝しましょう。新しい学年で、新鮮なスタートが切れるように、今からしっかりと目標を立てておきましょう。

【お花見】

もともと、花見は山から降りてくる田の神を花の咲く木の下に迎え、料理や酒でもてなし、豊作を祈った行事でした。

桜の「さくら」は大和言葉で、本来「さ」と「くら」に別けることができます。「さ」は田の神を、「くら」とは、神座(かみくら)＝神様の座られる場所を意味します。

「さ」+「くら」で「さくら」なので、桜の木は、「稲の神様が座られる場所」ということです。桜の満開の様子を花見して、その年の稲の出来具合を予測したと言われます。桜の生命力を享受するという自然信仰がお花見の由来だとも言われます。天孫瓊杵尊(あまの孫)の妻の木花咲耶姫(このはなさくやひめ)は、桜の花の女神で「さくら」の語源であるという話もあります。

三色の「花見団子」は、桜色で春の喜びを、雪の白で冬のなごりを、よもぎの緑で夏のきざしを表しています。全て邪気を祓い清めるものです。



和歌コーナー



しろぐみの みよちゃんだいすき ありがどう
またあそぼうよ みはるちゃんより

年少 K・H

☆だいすきなおともだちのことを和歌にできましたね。

ぼくはね しんけんじやあに なりたいよ
つよいんだよ けんをもっているから

年中 Y・K

☆けいちゃんは、きつと、シンケンジャーみたいに強くなれますよ。

つばきのみ しぜんきようしつ すごかった

あぶらもでてね ふしぎだったよ

年中 N・Y

☆固くてまるい椿の実から油が出てきて不思議でしたね。

もうすぐ小学校 たのしみだな

おべんきようしたり ひきざんしたり

がんばるぞ

年長 K・Y

☆もうすぐ一年生。はりきっていますね。ご入学おめでとうございます。

今日はね 椿の中を見てみたよ

油になると はじめてした

小学四年 N・E

☆椿の種の中から油が出てきてびっくりしましたね。



ももの花 一面さいて きれいだな
冬から春へ 季節の変わり目

小学六年 H・A

☆ももの花が一面に咲くと、幸せいっぱい気持ちになりますね。



今月の言葉

万葉集 卷八・一四一八

志貴皇子

石ばしる

垂水の上の さ蕨の

萌え出づる春に

なりにけるかも



(大意)

岩の上をほとばしる

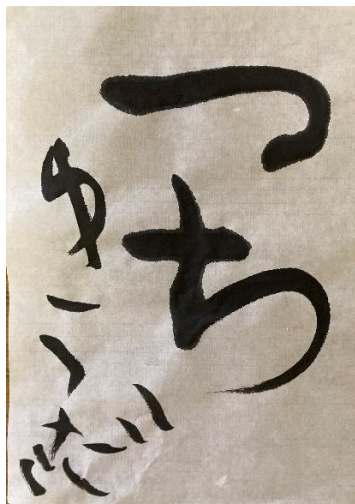
滝の上の蕨が萌え出でる

春になったことだなあ

次のなでしこ寺子屋は

四月二十四日(土) 六階和室です。

お楽しみに♪



年長 K・Y



年中 Y・K

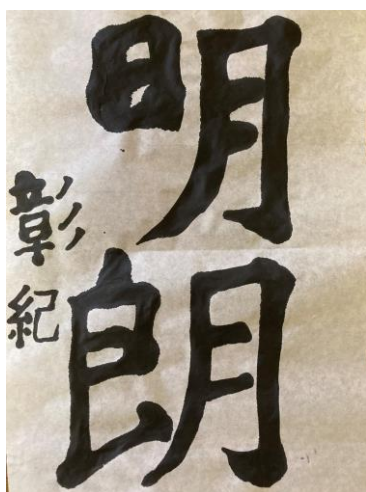


年少 K・M

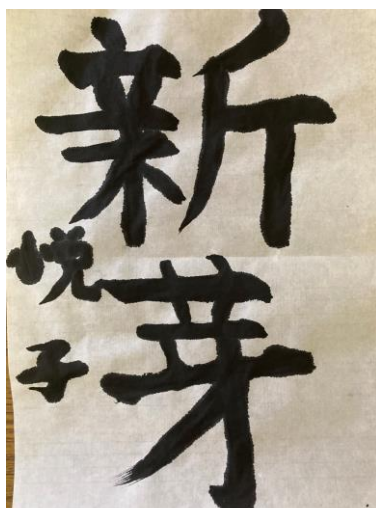
Mちゃん 半紙いっぱいにも力強く、堂々とのびのびと書けましたね。思い切って勢いよく書いています。

K君 「つ」の始筆がすばらしいです。筆を立てて、大きな気分で書くことができましたね。

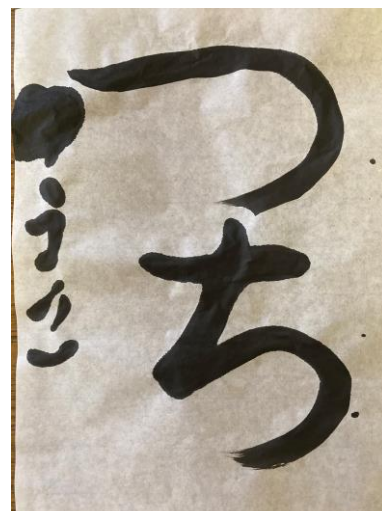
Y君 「つ」の始筆がしっかりと書けています。「ち」の曲がりもなめらかで大きく美しく書けました。



6年 H・A



4年 N・E



年長 N・Y

Yちゃん 悠々とおおらかに、紙いっぱいに書いています。筆を立てて、伸びやかな線で書けましたね。

Eさん 心を込めて、丁寧な筆の運びで書いています。中心も通り、落ち着きのある良い作品です。

A君 はね、払い、曲がりなど、ていねいに書け、筆先まで心が通っています。堂々とした作品です。

「わが子よ ありがとう」



一、あなたが 生まれて来たことが

ただ ありがたく うれしくて

ママはネ あなたが好きでたまらない

二、あなたが 丈夫で起きて来る

ただ そのことが うれしくて

ママはネ あなたが好きでたまらない

三、あなたの 寝顔をみていると

ただ そのままが とうとくて

ママはネ あなたが好きでたまらない

四、あなたは わたしの鏡です

いつも くもらずに すみ切って

ママはネ あなたが好きでたまらない